

農業機械化に係る調査結果報告および ロードマップ推進案

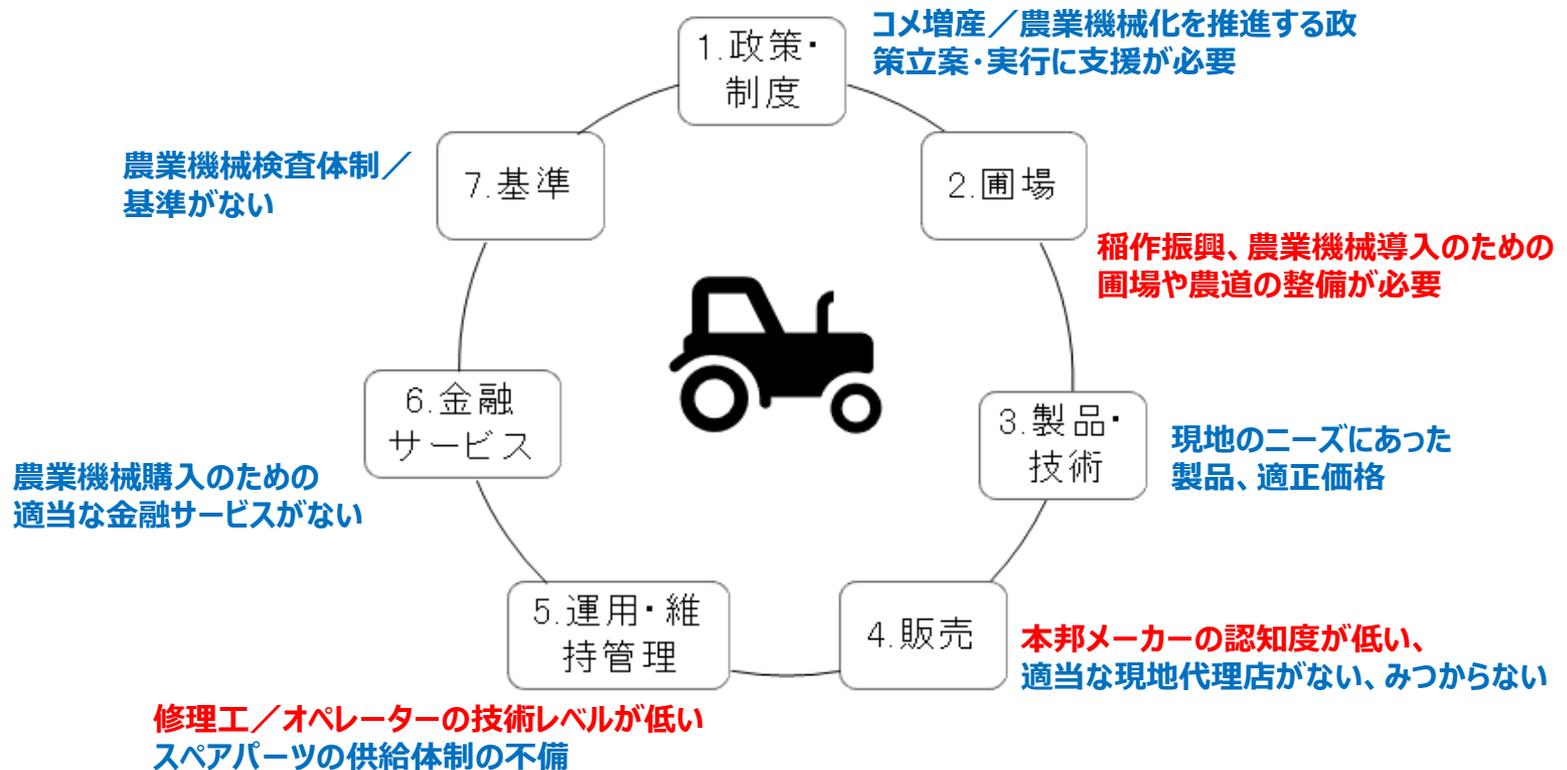
令和元年（2019）年12月9日
国際協力機構 農村開発部

アフリカにおける本邦企業の農業機械の活用に係る 情報収集・確認調査（2019年9月終了）

■ 調査概要

国内農機メーカーへのアンケート・聞き取り調査、およびタンザニア、セネガル、コートジボワールにおける現地調査を実施し、サブサハラアフリカにおいて本邦企業の農業機械の普及による農業生産性向上や農産品の品質向上に資し、**本邦メーカーのビジネス進出促進の足掛かりとなり得るJICA事業及びODAスキームの提案を取りまとめた。**

■ 農業機械化の課題



アフリカにおける本邦企業の農業機械の活用に係る 情報収集・確認調査（2019年9月終了）

■ JICA支援案

	支援案	概要
1	モデル圃場整備（小規模）	公的機関の農業研修センター等にある圃場（1～10ha程度）を「モデル圃場」として灌漑水田を整備し、本邦メーカーの農機を導入。技術者・オペレーター育成等を実施
2	モデル圃場整備（中規模）	灌漑スキーム（100ha程度を想定）をモデル圃場として灌漑水田を整備し、本邦メーカーの農機を導入
3	機材機械購入資金支援	機材機械を購入する際の足かせとなっている投資資金をより良い条件で提供することで、農業機械の普及を促進
4	無償/有償資金協力＋営農支援サービス/農機導入計画	本邦メーカーの農機を購入した顧客に対し、営農体系改善計画/農機導入計画作成支援およびその後の営農支援サービスを提供
5	アフリカ現地課題確認調査（スタディツアー）	アフリカ諸国を訪問し、現地政府関係機関、農機利用者である農民グループ、代理店候補企業などを訪問するスタディツアーを開催
6	アフリカ農業機械化に係るシンポジウム（マッチング会含む）	本邦農機メーカーが参加するアフリカの農業機械化に関するシンポジウムと現地企業と本邦農機メーカーのマッチング会を同時に実施。
7	農業機械化政策に係る本邦研修	政策意志決定者を対象とした日本での農業機械化政策立案研修

■ 推進ロードマップ（案）

JICAの技術協力の拠点を活用し、
デモ地区で農業機械化による
コメビジネス全体の展示・実証・
人材育成の拠点を設置

- 1) 本邦企業による同センターの活用、事業展開の足掛かりへ
- 2) 本邦企業による事業拡大支援

SDGs Goal 2達成へ向けた日アフリカ
官民協力による農業分野への取組み
生産性向上・品質向上
食料安全保障